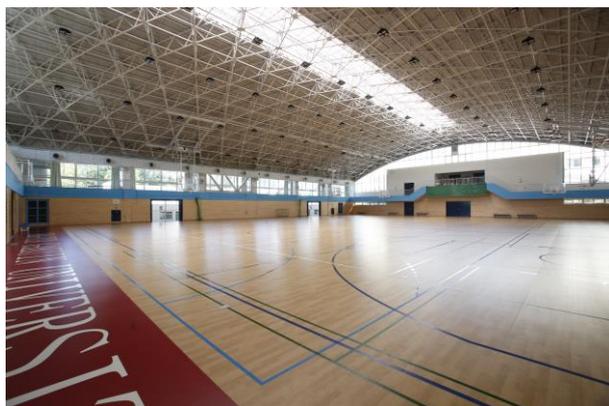




デフバレー日本代表が強化合宿！

名古屋学院大学男子バレーボール部は、6月24日(土)9時00分～17時00分、本学瀬戸キャンパス体育館において、デフバレーボール男子日本代表チーム・愛知選抜チームと合同で強化試合を行います。デフバレーボール男子日本代表チームは、6月23日(金)に現地入りし、本学の宿泊施設を利用し、合宿を行っています。



■ 名古屋学院大学瀬戸キャンパス体育館

瀬戸キャンパスの体育館は、公式サイズのバレーボールコート2面、床材にはコートマット(タラフレックス)が敷設されています。デフバレーボール男子日本代表チームは、今回の強化合宿後、7月18日よりトルコにて開催される「第23回夏季デフリンピック」に出場します。大会では、10カ国(ブラジル・イラン・イタリア・日本・ポーランド・ロシア・トルコ・ウクライナ・アメリカ・ベネズエラ)が参加する中、85年大会以来のメダル獲得を目指しています。

【デフバレーボール】

デフ(聴覚障害者)によるバレーボールのこと。チームメイトの声、審判の笛の音、ボールをはじく音などが聞こえない状態でプレーをする。一般社団法人日本デフバレーボール協会が主催するものとして、デフカップやビーチカップがある。また、最高峰の国際大会としてはデフリンピックがあるほか、世界選手権なども行われている。インドアは6人制、ビーチバレーは2人制で行われ、それぞれコートや用具、競技形式など一般のバレーボールのルールと同じ(ネットの高さ:男子2.43m、女子2.24m)。

【デフリンピック】

聴覚障害者の世界規模スポーツ大会のことで、「デフ(聴覚障害者)」と「オリンピック」を組み合わせた言葉。障害者のオリンピックとしては4年に一度「パラリンピック」が開かれているが、聴覚障害者は参加が認められていない。他の障害に比べて身体能力が高いという理由である。一方で、バレーボールのような集団競技において、意志の疎通が重要となってくるため、オリンピックのようなレベルの高い大会への出場は困難になる。こうした中で、戦前より、「世界ろうあ者競技大会」を4年ごとに開催。2001年イタリア大会からIOC(国際オリンピック委員会)より承認を受け、「デフリンピック」に改称。2017年は、7月18日より「第23回夏季デフリンピック」をトルコサムスン市にて開催予定。

<デフバレー日本代表が強化合宿>

- 開催日時 : 2017年6月24日(土) 9時00分～17時00分
- 開催場所 : 名古屋学院大学瀬戸キャンパス体育館(〒480-1298 愛知県瀬戸市上品野町1350)
※車で直接現地にお越しください。無料駐車場がございます。
- 参加者 : 名古屋学院大学男子バレーボール部 28名
男子デフバレーボール日本代表チーム 21名
男子デフバレーボール愛知選抜チーム 17名